

2019年度再生助成事業(実施期間2020年1月～3月) 成果報告

No.	加盟団体	事業名	予算(円)	決算額(円)	事業成果
1	岩手県GB協会	『岩手大学へのGB普及』	270,000	91,792	スポーツ学系の大学生12名、指導員等8名でGB体験教室を実施。今後、事業を継続していくことで大学の拠点化、学生チームでの大会参加を目指す。
2	宮城県GB連盟	『蔵王町GBウィンタートーナメント大会への講習会等』	220,000	220,000	児童16名、保護者17名の参加申し込みがあり、練習と大会を実施した。練習は5日間おこない、児童、保護者、高齢の指導員で3世代交流の場となった。今後は家族で参加できるようイベントを土日開催にすることにした。
3	福島県GB協会	『県内小中高大学生への普及』	190,000	69,231	県内の5高校、1大学に教育ツールとしてゲートボール導入について交渉。全体を通して感触はわるくはなく、交渉を継続していくことで若年層への普及につながることを期待できる。
4	栃木県GB協会	『2022年国体開催記念 新規会員獲得キャンペーンの実施』	550,000	550,000	新規加入者にスティックのプレゼント(3年以内の脱会者は返納)キャンペーンの結果、実施後約1か月で新規会員登録者100名を達成。
5	群馬県GB協会	『初心者向けの各市町村大会の実施』	500,000	516,587	初心者教室を開催した結果、18名が参加し、イベント終了後、全員が新規会員登録をおこなった。同協会は手ごたえを感じ、継続的な初心者向けの教室で新規会員獲得を目指す。
6	千葉県GB連盟	『ゲートボール研究会の実施』	120,000	129,157	競技者の技術技能の向上のための研究会を実施。指導者を派遣し、スライドタッチ時の目標打撃地点の確認、つけ球の距離感と方向性の確認、ジャンピングタッチの習得をテーマとした。参加者に一定の技術力向上が認められた。
7	(非特)東京GB連合	『再生プロジェクトの東京会議』 『東京都ゲートボール指導者研修会』	550,000	680,112	東京版再生プロジェクトの起案と実行のために外部講師と60名の参加者で実施。今後は東京版再生プロジェクトをもとに行政と連携して普及推進を目指す。 東京都、東京都体育協会、東京都議会、また各加盟団体の市区町村の行政と連携し、GBの普及推進、周知徹底を図るヒントが得られた。
8	神奈川県GB連合	『柳島スポーツ公園ヤナスポフェス★2020への出店』	220,000	98,178	新型コロナウイルスの影響により中止 スポーツ施設のスタッフとの意見交換や共同事業としてチラシの作成を行うなかで関係性の強化。
9	(一財)新潟県GB連盟	『会員獲得の作戦会議の実施』	1,040,000	0	新型コロナウイルスの影響により中止
10	長野県GB連盟	『頑張ろう長野！長野県のゲートボールを元気にしよう！』	540,000	248,225	新型コロナウイルスの影響により中止
11	三重県GB連合会	『健康ゲートボール教室の開催』 『第4回E・フォース クリアンサスカップ ジュニアプレーヤーの相互交流』 『ゲートボールサークル世代交流会』 『名張養護学園クラブでのこども体験教室の提供』 『蕪原小学校のクラブ活動でのGB体験』 『児童クラブ成和東でのGB体験』 『阿山小学校でのGBクラブ創設』 『相原ジュニアゲートボールクラブの支援』	740,000	183,301	新型コロナウイルスの影響により中止 新型コロナウイルスの影響により中止 全6回実施し、比較的若い世代である30代～50代の5名が参加。指導員のサポートのもとでルールも覚え、ゲートボールを楽しんでくれた。今後、継続していくことで競技者数の増加を目指す。 養護学校の幼児、児童を対象にした体験教室の実施。子供たちは情緒豊かにプレイしていたことからユニバーサルスポーツとしてのゲートボールに手ごたえを実感。 新型コロナウイルスの影響で学校が臨時休業となったため、急きょ放課後児童クラブに通う児童を対象とした体験教室に変更した。今後も学校行事や特別活動におけるクラブ活動などで学校と連携して年間を通じた活動を目指す。 新型コロナウイルスの影響により中止 クラブ活動の3回中2回がインフルエンザ感染防止のため中止となってしまったが、開催した日には10名の児童が参加。クラブ活動創設は若年層への普及、選手育成に於いての期待ができる。 新型コロナウイルスの影響により中止
12	滋賀県GB連盟	『ジュニア・ミドル(JM)チームの養成』 『新人養成事業の展開』	680,000	699,670	県内ジュニア・ミドルの会員で構成される全県一区のチームを編成し練習会を4度実施。当チームの主体的な運営・活動により若者世代に向けた新規会員獲得を目指す。 新規会員にスティック等の特典をプレゼントするキャンペーンを実施。勧誘者にも特典をつけた。結果として当事業で38名の新規会員獲得。70歳以下の新規会員数は19名であった。
13	大阪府GB連盟	『はじめましてゲートボール』 『初心者および未入会者への研修会』 『キム先生のゲートボール教室』	340,000	355,500	全15回実施し、日によって8名から16名の参加者が見られた。未経験者は5名であった。経験者は簡単な審判の動きも学び、審判資格取得を希望する人もみられた。 新型コロナウイルスの影響により中止 コロナ騒動で3月の実施は2回であったが、全体で15回実施した。ほとんどの参加者が2018年からゲートボールを始めた方で、毎回12、3名が参加し、区の大会への参加希望者もあらわれた。
14	島根県GB協会	『新規愛好者拡大イベントの実施』	550,000	535,487	初心者のための女性を対象としたゲートボール教室、子供を対象としたゲートボール教室をそれぞれ実施した結果、3か月の事業期間で42名の新規会員を獲得した。教室に参加した小学生2人は、後日開催された小学生大会にも参加した。
15	岡山県GB協会	『美作大学拠点化事業』	150,000	14,240	3度にわたる大学との協議会が行われたが、コロナの影響もあり、チーム同好会の設立、同好会ユニフォームの製作までには至らなかったが、ゲートボールを授業に導入されている大学ということもあり、大学との関係性強化において、今後継続した訪問が期待される。
16	山口県GB協会	『親子ゲートボール教室の実施』	380,000	281,830	5回実施。コロナの影響で6回目以降は中止。参加者は延べ82名、指導員延べ22名。参加者の親から保育園での体験会を提案していただいた。今後は市教育委員会からの協力が得られることになったため、募集方法を改善することでさらに多くの参加人数が期待できる。
17	香川県GB連盟	『香川県小学校対抗ゲートボール大会の実施』	530,000	530,822	新型コロナウイルスの影響により中止 (児童、父兄の総計64名が参加予定であった。)
18	高知県GB協会	『高知県ゲートボール親善大会の実施』	360,000	0	新型コロナウイルスの影響により中止
19	大分県GB協会	『大分市ゲートボール教室新人教室』	340,000	344,500	市のGB大会の一角に設けた「初心者体験コーナー」に参加した数人の市民の開催希望のもと、近隣より参加者を募り、定期開催のGB教室を実施した。参加者は9名で8名が新規の会員登録をおこなった。
20	鹿児島県GB協会	『かごしまゲートボール会員拡充事業』	550,000	551,555	県ジュニアGB育成会を設立し、15名のジュニア育成者が登録された。県スポーツ少年団への加入や県協会の組織として学校への働きかけなど意欲的な意見が出された。活動する子供たちに触発され、保護者7名が新規会員登録をおこなった。
21	沖縄県GB連合	『小冊子の作成』	70,000	70,150	初心者のための教本として小冊子を作製。競技者や名桜大学へ送付し、新規会員獲得のための活用を推進した。また、警察学校におけるゲートボール競技の実践授業採用について沖縄県警察本部教養課と交渉をおこなった。
	合計		8,890,000	6,170,337	